

小学校3～4年生から 楽しめる読み物



……どんでん読める……

＝おすすめの数冊＝

エーミールと探偵たち



ケストナ

エーリヒ・ケストナー 作
池田香代子 訳
岩波書店

エーミールは、おばあさんをたずねて汽車でベルリンへ向かいます。ところが、居眠りをしていたときに、大切なお金が盗まれてしまいました。エーミールはお金を取り返そうと、どろぼうを追いかけていきます。そんななか出会ったグスタフと仲間の少年たちが、エーミールを手伝ってくれることになりました。さて、彼らはどうやってどろぼうをつかまえるのでしょうか。ドイツのベルリンで、エーミールたちが大かつやくします。

大どろぼう ホッツェンプロッツ



フロイスラ

フロイスラー 作
中村浩三 訳
偕成社

ある日、おばあさんの家にどろぼうが入り、大切なコーヒーひきがぬすまれてしまいました。犯人は、7本の短刀をもった大どろぼうホッツェンプロッツ。カスパールと友だちのゼッペルは、コーヒーひきを取り返しに行きますが、逆につかまってしまいます。さらに魔法使いも登場し、大変なことに……。お話は、『大どろぼうホッツェンプロッツふたたびあらわる』『大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる』と続きます。

おさる日記



和田誠 文
村上康成 絵
偕成社

船乗りのおとうさんがほくにくれたおみやげは、ちいさいおさるでした。とてもかわいくて、学校につれていきたいくらいです。おさるに「もんきち」という名前をつけました。もんきちは、バナナをじぶんでもけるようになりました。つみきをうまくつめるようになりました。テレビのチャンネルをかえられるようになりました。どんでんあたまがよくなっていきます。毛もどんでんぬけて、うすくなっていくみたいです。

がんばれヘンリーくん



ペバリー・クリアリー 作
松岡享子 訳
ルイス・ダーリング 絵
学習研究社

ヘンリーくんは、どこにでもいる小学校3年生の男の子です。「何か、あつというようなことがおこらないかなあ。」と思っていたある日、やせこけた犬のアバラーを飼うことになりました。それ以来、ヘンリーくんの周りには次々とゆかいな事件が起こります。事件にたち向かっていくヘンリーくんを、思わずおうえんしたくなります。他にも『ヘンリーくんとアバラー』『ヘンリーくんとピーザス』など、シリーズになっています。

きゅうりの王さま やっつけろ



ネストリンガー 作
若林ひとみ 訳
岩波書店

ある朝、台所からもどってくるお母さんの体が、がたがたふるえていました。そこで、台所を見に行くと、なんと大きなきゅうりが金のかんむりをかぶって座っています。地下室にある、きゅうりの国の王さまで、家来の反乱にあり、逃げ出してきたというのです。わがまま放題で気味の悪いきゅうり。家族のみんなは追い出したのですが、お父さんだけはきゅうりの味方をします。このきゅうりをやっつけるには、どうしたらいいのでしょうか。

くまのパディントン



マイケル・ボンド 作
ペギー・フォートナム 画
松岡享子 訳
福音館書店

パディントン 駅へ娘のジュディを迎えにやってきたブラウン夫妻。そこで小さなくまに出会います。なんとそのくま、南米ベルーから密航してきたのだと言います。ブラウン夫妻はくまをひきとり、パディントンと名づけました。パディントンは、お風呂でおぼれかけたり、エスカレーターをとめてしまったり……いつでもどこでも事件をまきおこします。そんなお騒がせパディントンの、ゆかいで楽しいシリーズの第1作目です。